京城新聞

養鷄經濟學(一)

[illegible]種鷄飼養場主任 小[illegible]賀一郎

朝起き出でゝ雨戸を開くや、鷄舎の戸を同時に其序に別に勞するなく開け得らるゝ樣に致し置かなくてはならぬ、希くは鷄の寢室は壁を隔てゝ屋内に設け、其壁に幅六寸高八寸位の出入口を設け、壁外は擲下にて其擲下は堅固に柵して運動場となし、鷄が朝夕人手を假らず自ら出入する如くせなば、農業の繁忙又は不時の留守中にても非常に好都合なるべし、擲下の運動場を假りに内運動と稱し更に内運動場外に連接して廣き外運動場を設け、内外運動場の境に適宜の戸を設け、平時斯くせば鷄を飼へばとて其出入に左程の面倒を覺えざるべし

内運動場を堅固にしなば害敵狗盗も侵入し得ざるべし、内外運動場境戸は堅固の錠を下すべし、又壁に設けある出入口より盗人の侵入を防ぐには出入口と平行して二尺位奥まで板又は壁にて樋口の如くし、奥に突き當りて屈折して廣き寢室に入らるゝ如くせば安全なるべし

▲既に糞便を言とするも、糞便に伴ふ無性は忽ち蝨蟲を發生して、石油鷄瀉の大騒ぎとなり、之に懲りて養鷄を斷念するもの多し、蝨蟲を發生せば農家の懲るまでもなく鷄其者も懲りて肉は落ち卵は産み休むべし之は如何にして未萌に防ぐべきか

蝨蟲の發生は一夜にして數百萬疋となり之が撲滅方法は尋常一樣の手段にては到底駄目なり、過滿俺酸加里の一握を四斗樽一杯の水に溶解して其酸化せざる間急速に之を如露の如きものにて撒布すれば驚くべき奇功あるも、未萌に防ぐの良策なるに如かず、鷄の寢室とすべき所は[illegible]に接近するを忌む、五六羽を收容する寢室は三尺角の廣さあれば可なり、故に太き伏籠を用ゆるか金網にて作るを良しとす、中春後晩秋の頃までは其寢室の周圍は空氣の流通を良くし、冬間は寢室の腰に筵を捲き防寒すべし、寢室は可成屋内の片隅に置かざる樣にすべし、寢室とする金網籠又は伏籠の下端より七八寸下に横木を渡して棲架とすべし、而して又寢室内は可成日光を受くる樣にすべきも出來されば日中寢室内は暗からざる樣にすべし又日中は屋舍の戸を開いて清涼の空氣をして、寢室内を洗流する樣にするは非常に良好なり、寢室を板にて作るは非常に不可なり、金網にて作るは總てに利益あり、蝨蟲の發生は斯くせば防ぎ得べきも糞失堆積せば矢張り發生するが故、糞は毎日若くは隔日位に掻き去るを良しとす、掻き去りし跡には、能く乾きたる粉土の一撮を撒布し置くは嗅氣を吸收し併せて害蟲發生を[illegible]ぐの功あり、糞を掃き去るは面倒なる如きも、其儘四五日放置せば害蟲發生の虞あるのみならず、惡臭發生して鷄を苦しましめ、剩へ糞は分解して有功肥成分は飛散するものなり故に注意して毎日之を除去し糞は擲下又は外庭に攤げて乾燥し貯へ置きなば之れに過ぎたる良肥料は他に得難かるべし、農家が金肥を使用するの總て不良不經濟なるを叫ぶ今日些の手間を惜みて此最良肥料を放棄して顧みざる事ありて可ならん況んや剩へ鷄の衛生に快適し害蟲の發生を防遏するの偉功あるをや

●黒龍江鐵道工事現狀

露國鐵道工事管理長グエルガキリ氏は今回黒龍江鐵道工事視察の結果を交通省大臣シ[illegible]

下黒龍江鐵道の工事はクエング停車場より日八十露里に亘る主腦地點全部に及び工事に從ふ者は專ら此の地方へ移住せる露國勞働者にして其の數六千人乃至七千人なり工事は目下專ら土工と住居及び事務所の建設中にて勞働賃銀及び材料の價格は通常の價格よりも數倍の高値なり工事は概して規則的に行はれゆゝあれど或る部分に於いては改良を加へ且變更すべき必要を認めたるを以て是等の點に就て將來工事の管理者たるドウロスドン氏に注意し置きたり黒龍鐵道に於ける不秩序及び恐慌等に關する露説に就き更に述べて曰く余は今回の視察に於て斯かる行跡を認め[illegible]て又現在に於て絶對的に工事上濫用不秩序の點なしとは斷言し得ず經營上に關する[illegible]視は八月以降同鐵道工事の現場に滯在し居る會計檢査院の出張員によりて實行せられつゝあり鐵道の主腦地點は豫想の如くんば千九百十年には完成せらるべし今日中止されたるチルチンスク方面の工事に於ける損失は百萬留を遙に超過すクエング方面よりの主腦地點の工事に向つては今日迄既に約七百萬留を費せり云々

浮世ぐさ

●洋畫モデルの始

日本の畫家がモデルとして人を雇ひ入れ之を寫すといふことは明治九年工部大學に美術課を置き西洋畫科を加へし時に始まれり而して時の繪畫教師は伊太利人フォンタネージにて其の日本に來るや未開草創の際に不便なからしめんと特に佛國に廻りて石膏雛型を始め參考にすべき手本繪具木炭の類迄持ち來れり而して學校の開くるや石膏模型の寫生木炭畫野外の寫景モデルの寫生等を授く始めは木炭又はコンテ等にて行はせ後には進みて油畫を畫かしめたり裸体モデルを使ふことは此のときに行はれしことにして御用商人に言ひつけ多くの人足等を集め教師が其の中より容貌體格等に見込をつけたるを撰み「今日は此れを明日は那れ」といふ工合に命令的に用ひしが當時は裸体寫は稀にして多く着衣の姿若しくは顔面のみを寫生したるが多かりし明治十年の博覽會に同校生徒の出品せる洋畫の内一人の男子が裸にて片膝をつき弓を滿月に引き絞りて的を狙ふ有樣を描きたるは是れ正しくモデルに依りしものなりといふ其の後洋畫は一旦すたれてモデルのことも盛ならざりしが二十九年九月東京美術學校に洋畫科をおきてより絶えずモデルを使用する事とはなりたり



(七十四)　河合柳葉

其翌日は大山の取計ひで、君子は三輪子爵子の兩人に初對面をして後、屋敷に召使れて居る重立ちたる人々にも對面して全く爲雅の寵妾と云ふことは秘密の公然となつて廣い邸内で誰こそ知らぬものはないまでになつた。口にこそ出さぬけれど、君子の喜びは其の面色でも定[illegible]ぬに知れるのである。

斯くて十日ばかりは夢と過ぎて九月の中旬過となつた、爲雅に人を惱殺した苦熱も朝夕のみは涼しさに過るほどになつた。

一日君子は爲雅に向ひて、

「ねえ御前樣、兄から書面を寄越しましてございますが、一日も早くお屋敷へ上られるやう、私からもお願ひ申して下れと、斯樣に認めてございます、私には天にも地にも只だ一人の兄でございまして、私も便り致して居りまする、兄も又非常に可愛がつて居て下れまして、御前樣のお側へ上ります時なども、唯だ一人の妹だから、成らう事ならば自分の傍へ置きたいと申した程でございましたけれど、宇治の若樣の仰しやるにはそれ程妹の事が案じられるなら兄も一緒に屋敷へ上られるやうに爲てやると仰せられまして、このやうに御寵愛を受ける身の上になりましたのでございまするが、寄來しました手紙を見るにつけましても、嘸や淋しく暮して居ることと思ひまするど私ばかりが榮耀榮華な境涯に居りますのが兄へ對して濟まないやうな心が致しまして、如何にも氣の毒に思ひまするゆゑどうぞ私を可愛想だと思召しまして一日も早く此方へ參られまするやう、お取計ひがれ願ひ申したう存じます」

と、如何にも兄の身を案じ[illegible]に、憐つぽい調子に訴へた。

大殿御在世の節より御家の柱石の如く三十何年來一つの落度さへ無い、無二の忠臣清川道雄に暇を取らしてまでも、其の寵愛を棄てる事のならないほど深く愛して居る君子の事は其の片言隻語と雖も効驗の著しい事は非常なもので、爲雅は深く同情を表して、

「いや、山川からは私の手許にも書面が參つたおや、眞個お前の云ふ通りに、お前を私の側へ引取る時に、山川も一緒に東京へ連れて歸るといふ約束であつたのだが、この間暇を遣した、あの頑固者なり、又母上よりの手續があるので、お前だけ同伴[illegible]のだ、ところが幸に母上の方の首尾も能くなつたから、近々の内に上京するやうに書面を出して遣はさうと思ふて居つた、私も淋しいであらうと察して居るゆゑ、早速彼地を引拂つて上京するやうに書面を出して遣はさう。」

「然うして遣つて頂きますると、兄も非常に喜ぶことでございませうし私も斯麼嬉ばしい事はございませんぞうぞ、私が一生のお願ひでございます、早速御書面をお出し下されますやう、幾重にもお願ひ申し上げまする。」

「心配致すな早速認めて出して遣はさう。」

「難有う存じます、兄も定めて喜ぶことでございませう。」

爲雅は、君子の面前で、料紙を出してスラ〳〵と認め、やがて小間使をして郵便に投じさした。



京城新聞

監獄改良に就て

監獄改良に就ては當局者に對して屢々警告をなせり、幸に當局者も改良せざる可らざるを認識したる乎、其豫算は參與官會議及大臣會議を通過し統監亦之に同意せりと聞く、之れ當然の事にして敢て之を賞讃するに足らずと雖も、其設備の不完全を認めて改良の實行に着手せられんとするに至れるは保護政治の一進步として喜ぶべきなり、余輩は兼起問題以來監獄の改良に就ては忌憚なく論議したり、爲に當時に於ては多少或る向きより誤解せられたる傾なきに非ざりしも、正論讜議は最後の勝利たるを信ぜ[illegible]韓の伊藤公新政の下に現今の如き監獄を此儘に捨て置くの謂はれなし、殊に治外法權撤去に熱心せらるゝ伊藤公は警察、裁判等と並立すべき迄に監獄制度を改良せらるべきは素より論を俟たず、然るに警察機關は漸次改善せられ、裁判所も面目一新せられ稍々整備し、法典さへ改むれば文明式制度たるに愧ぢず、法典は梅博士に依りて調査制定せられ最早完結せりと聞く、獨り監獄のみは舊時の面目を革むること少く警察及裁判の整備と均衡を失せる傾あり、故に余輩は之を難じて玄關式政策にあらざるかと云へりき、表面に顯はれたる所を改むるの必要なると共に裏面の改善亦等閑に付す可らず、監獄改良の如きは裏面の事に屬すれども列國人の注意は却て此點に存するなれば政略上よりするも策の得たるものに非ず、況や人道を標榜する統監政治に於てをや、惟ふに全國八監獄に僅々廿二万圓の費用にては完全なる設備の行はるゝ謂はれなし、今回參與官會議及大臣會議を通過したるに就ては費用支出の方法も定れるならんが細密に調査すれば幾多不急の事業もあらん、節約し得べきものは節約を斷行して急要の設備に充てざる可らず、八監獄を一時に改善するは素より許さゞる事情もあらん、故に先づ首都に於て模範的監獄を建設すべく漸くして漸次に地方に及ぼすとすれば、其費用の支辨に苦むが如きことなからん、而して茲に考ふべきは治外法權撤去後に於ては監獄も亦日韓合同となるべければ今よりして其準備なかる可らず、然らば模範的監獄は在韓日本監獄に隣接する所に建設せしむるを便法とせずや、一は日本の設備取扱に習はしむる便宜なると共に他日合併の場合に於ても都合宜からんか、要するに之れ既に考案あるべし、此等の點に就ては當局者相互の利益なり、余輩は今や監獄改良の當局者に認識せられ之が豫算の通過を聞き余輩の主張が實現するに至れるよりも帝國の保護政治に一步を進めたるを喜ぶもの也

桑港電報

▲米國民の滿足

日米協約の公文は日米兩國の親密なる關係を尙鞏固にするを以て特色とせり全米人民は日米協約の交換に對して滿足せり該協約の成立は多大の好結果を生ずべく近來輿論を誘惑せる日米開戰の暴論を鎭靜せりと云ふ

雜報

●駐韓司令官交迭

長谷川大將は韓國に在ること五年の久しきに及び暴徒討伐も最早一段落を告げたるを以て今回軍事參議官に任命暫く閑職に就くことに內定したれば何れ同大將の後任決定の[illegible]

●東拓の準備事業

東洋拓殖會社にては目下申込株に對し割當額算定中なるが遲くも本月七八日頃迄には之が決定を見る筈にて同十日頃總裁以下理事の任命を濟し續いて廿日頃株主總會を開く豫定なりと之にて同會社創立事務は終了するを以て宇佐川總裁は正親町委員長より事務を引繼き直ちに先發隊として本年度內に若干の人員を渡韓せしめ管掌執務の準備を爲さしめ置き總裁以下幹部總員は來年一月中旬頃渡韓準備事業に着手すべしとの事なるが先づ會社事業の第一着手として韓國政府より引受くべき一萬五千町步餘に亘る土地の實際の引渡しを受けたる後會社にては尙は精細の踏査を爲し地形上不便なる個所に對しては之が削除を行ひ地面地圖を作製し更に各土地に對し培養すべき作物の適否を試驗したる後移民を行ふ順序なるが茲二ヶ年間は全く拓殖事業に對する準備時代にして正式移民を行ふ能はずと云ふ

●韓廷と加藤肥州

鬼上官として韓國人間にも今に威名を遺せる加藤淸正の三百年祭を明年熊本に擧行さるゝを韓皇室にても聞かせられ文祿役に韓の二王子を懇篤に待遇したる崇高なる心事を德とせられ幣帛料を賜はるべしとの說なり果して事實ならば地下の英靈亦感泣すべけん乎

●ヘデインの博士來韓

去る廿九日京都に入り澤文旅館に投宿中なるヘデイン博士同行の山崎理學士より當地井上雅二氏への私信によれば同博士は大島關東都督の懇篤なる勸誘により本月八九日頃同市を發し滿州觀光の途に上る由にて其の途次京城にも立寄る事となり十一、二日頃來京二三日滯在の豫定なりと云ふ

●韓國の借欵

本月一日より拂込まるべき興業銀行外資手取額百八十四萬磅(約千八百四十万圓)は同月同日を以て直に銀行當局者と韓國政府との間に貸借の假契約成立せる由にて其條件左の如し

貸附金總額百八十四萬磅、利子年七朱見當、償還期限二十年以內擔保韓國關稅收入の優先權

尙正式の契約は荒井度支部次官歸朝の上締結せらるべく巴里に於ける十二月一日第一回拂込金四十六萬磅(約四百六十万圓)は直に右韓國政府借欵に振換へ充當さるべき筈なりと

●豫算要求の競爭

明年度豫算が各部共當然の要求として新たに施設擴張すべきもの多く本年度に比して五割以上の增額[illegible]度支部に於ては此れが査定に苦心し居れる由は既に報導したるが今聞く處によれば各部の豫算は何れも度支部に回送せられ其の査定を終る迄は秘密[illegible]られしより他の各部は其の要求の多額なるを知り要求額に應じて減額せらるゝ如き事あらば一大事なりとして豫算の要求を追加するに至り年度末の今日に至るも未だ全部の要求額らざる有樣にて度支部當局者は一層の苦心をなしつゝありと云ふ

●果して事實乎

萬朝報に揭げらるゝ所に依れば目下東京に滯在中の一進會長李容九氏と韓廷の利もの宋秉畯氏との間に金錢上に關する紛紜あり事伊藤統監にも關する模樣にて其筋にては極めて秘密に附し居れるが李容九氏は之が解決を見ざる以上は到底皈韓し能はざる境遇に在りと聞く

●基督教青年會開館式

京城基督教青年會館開館式は既報の通り今三日午後二時より開會せられたり[illegible]英書院長尹致昊氏會長となり內閣法制局長兪吉濬氏の祈禱に始まり米國總領事本會館寄附者ワナメーカー氏に代りて寄附金の由來を說明し伊藤統監リチャード博士の演說に次ぎて建築委員長より本會副會長尹致昊氏に鍵を引渡すの儀式を行ひ次で李總理大臣の祝辭朗讀あり牧師金德基氏の祈禱にて閉會せり來會者は伊藤統監曾禰副統監皇族各大臣次官日米兩國の各青年會員其の他內外文武官新聞記者並に民間の重なる人々等千余名にて閉會後一同は館內を觀覽して退散したるが世界各國の青年會よりの祝電ありて頗る盛會を極めたり尙當日來會者(韓人)より同會に寄附したる金額五千余圓に達したり

●伊藤統監の演說

紳士淑女諸君今日の盛典に當りて余の諸君と共に之に參列するを得しは余の大に欣喜する處なり

余が特に本會館の起礎司掌に參加するの榮を得しは僅かに一年前の事に過ぎず然るに當時同建築の端緒を開きたる此會館の今や全く其の功を終へ巍然たる容姿は其の總[illegible]せし大共和國の一市民の廣量と此の會館に奉献せらるゝ所以の大義とを表彰するに足るものあるを見て愛心欣喜に堪えず此の如くよく其の目的に適合するの設備ある一大會館の設置せられしは余の尤も喜ぶ處なり何となれば余は此の會の社交上及び道義上に於ける韓民の福祉を增進する尤も有力なる位置たるを承認すればなり、余は此の會に余が兩身全力其の進行を企畫するを以て余の義務悅樂とする國民的革新の大業に對し其同情者たり又共同者たる事を信ず

紳士淑女諸君余が此の會に對する同情と友誼の常に會員諸子の期待にそむかざるべきは余の茲に聲明するを要せざるなり何となれば韓國に對する眞誠の友人た[illegible]成効と隆昌とを尤も熱誠に希望せざるものなければなり

●日本留學生規程發布

本日の官報を以て學部所管日本留學生規程發布せられたるが特に日本國留學を必要とする學術、技藝を履修せしむるため官立高等學校又は此れと同等以上と認むる官公私立學校の卒業證書を有する者の中より檢定を行ひて學部大臣が命ずる官費留學生の給與監督其の他に關する規定をなせり

●東萊釜山間の交通

東萊の溫泉場は一仙境にして其風色頗ぶる佳にして例の洗兵橋及び城壁等歷史的の遺影少からず剩へ居留地とは僅に二里程にして近からず遠からず釜山よりせば別莊地として屈竟なるべく現に蓬萊溫泉及び八頭司氏の管理に係る溫泉あり其他別莊的施設を爲したるもの至りて多く將來此種の企畫に出べきもの亦少からざるべき模樣あり而して其內奧の地には韓國有名の巨刹たる凡魚寺あり府の生產亦侮り難きものあり去れば之が施設の如何に依りては例の須磨療病院的の經營も亦見込みなきにあらざるものあり然れども之を今日の如く交通の利便を欠く時は自ら該地の發達遲々たるのみならず又隨て該地の利用を爲す能はざるを以て先づ第一着に道路の改修を爲さゞる可らずとは內外人一般に認めて主張する所なり而るに右釜山東萊間の道路は近々開鑿に着手せらるゝ運びとなるべきを以て其曉には態本、福岡方面に於ける輕便鐵道の方式に則り電鐵に先ちて輕便鐵道の布設營業を爲さしむべき計畫あり此の計畫を進むるに於ては東萊釜山の日韓人は非常なる熱心を以て之が成立に盡力すべく殊に之れと密着に利害の關係を有する日韓各大地主の如きは當然傍觀し難き事情あるを以て輕便鐵道の組織に鋭意するのみならず之が基礎工事とも見るべき道路の開鑿にも充分の盡力を辭せざるべしとの事なり

●仁川各國居留地會議員補缺撰擧

仁川各國居留地會議員補缺撰擧は豫報の如く一昨日午前十一時より同地各國警察署內に開かれたるが開票の結果富田耕司及ベンネットの兩氏は共に十六票にて當選しバウマン六票吳鎭室二票の兩氏は落選したり而して同會議員の任期は最點者三年次點者一年とあるも今回はベンネット富田の兩氏同點なりしを以て何れを長期とするやは未決せざるも多分富田氏が長期をベンネット氏に讓ることになるべしと云ふ

●ベッセル氏下關談

一昨日上海に向け出發したるベッセル氏が下關に於て訪客に語れる談話なりと云ふを聞くに上海行の用務は新聞經營資金調達の爲なりと亦曰く現今の韓國は徧に起りたる貨幣僞造問題より白銅貨の引上となり補助貨の流通[illegible]め下層勞働者窮境の聲高く[illegible]に討伐すれば禍根を絕たざる限りは到底實蹟を擧げ難し云々と何處迄もベッセル的口調する說

●學相の視察演說

今回學事視察の爲め忠淸南道全羅南北道慶尙南道及平安南道に出張せられたる李學部大臣か歸來後部員一同に對し演說せられたる要項を摘記すれば左の如し

一、地方に於ける公立普通學校の位置は多くは邑內適當の場所を占むると偶々其位置宜しからさるものあり即ち所在地の中央部に其位置を占めさる爲め學徒の通學上其他の點に於ても不便少からず之に反して私立學校は比較的好位置に在るを以て多數の學徒入學し居る狀況なり就ては將來校舍の位置を選定するには愼重に考量するを要す

二、地方に於ける公立普通學校の校舍は既に新築增築を了したるものを除き其他は槪して狹隘且不完全なるを免れず是其經費を支辨すべき財產の有無多少等の關係もあり未だ遽に之か擴張完成を望むべからざるは正に其處にして事情固と已むを得ずと雖も而かも長く現在の狀態に委し置くべきにあらず其經費匱乏のものに對しては漸次本部補助施設の步武を進めて之を擴張完成せしむるの要あり

三、齊しく公立の普通學校にして機械其他敎授用備品等の送付方に關し未だ本部に請求せざるものあり既に請求せしも未だ到達し居らざるものありといふ學徒敎育上遺憾少からず今後は成るべく一致の方針を以て請求すべきものは速かに請求せしめ回付すべきものは速に回付し得る樣取計らひ敎授上差支なからしむるを要す(未完)

●赤十字救護機關の增設

日本赤十字社の事業は我國運の發展陸海軍の擴張に伴ひ益々擴張を要するものあるに依り先頃來本社に於いて救護機關[illegible]究に着手し近からず發表せらるゝ由なるが今其內容の一般を洩れ聞くに即ち從來使用し來れる博愛、弘濟の二病院は小形のものにて僅かに二千五六百噸に過ぎざるを今回四五千噸の大形のもの二隻を設備し又救護班の如きも從來總て百十六個中看護婦組八十八個看護人組二十八個なるを看護婦組百廿四個看護人組卅九個即ち百六十三個に增大し且つ輸送縱列は從來編成計畫は三個なるも實際は一個なりしを總て六個とし其他に一病院列車を設備し完成を期する計畫なりと云ふ

●釜山演藝會の成績

愛國婦人會釜山委員部に於て過般開催したる演藝會の報告に依れば二日間の總收入は寄附金入場券料等を合せ千四百廿四圓卅五錢にして內演藝會費成錦女學校寄附(百圓)等を差引八百卅七圓卅七錢の收益ありたる[illegible]して保管する[illegible]などなれりと

●釜山委員功勞表彰

愛國婦人會釜山委員部委員中の重なる夫人は故奧村刀自が本會創立の際釜山婦人會を組織し率先金千圓以上を寄附して本會の活動に資し尙今回總會開催に際し晝夜奔走努力して九百余名の會員を得る等其功勞顯著なりと認められ今回本會總裁殿下より龜山委員部長は二等有功章を福田フサ、淺谷りツ外十余名は何れも三等有功章を授與さる

●東拓株の暴騰

東洋拓殖株の權利相場は過般來浮沈極りなく一時七十錢といふ安價に低下したるも其後滅切り好況に向ひ卅日には二圓七十錢の唱へとなり尙三圓の高値を叫ぶに至りたるが右は浮動株の漸次消化されたるに際し昨今東京に於ては有力なる手筋の買物現はれたる有樣にて而も小口より大口物を買望むは確實なる資產家の手に吸收さるゝにあらざるかとの說あり

●暴徒被害の人違

過日光州財務署通譯熊本福之助氏が暴徒に殺害せられたるを日本內地の新聞紙が電文の氏名を篠塚福太郎氏と誤譯し其の經歷等を揭載したるため同氏の家族は大いに驚き度支部へ照會し來りたる由なるも篠塚福太郎氏は潤川財務署主事にして極めて建在に職務に勤めつゝありと云ふ

●井深博士一行歡迎會

今般日本基督教青年會同盟本部より出張せられたる井深博士一行の歡迎會を明五日午後五時より日本人倶樂部に於て催すよしなるが出席希望者は四日迄に旭町四丁目京城基督教青年會へ申込まるべしと

●基督教青年會の講演

京城基督教青年會にては明五日午後七時より日本人商業會議所に於て第五回講演會を開く由なるが演題並に演者は[illegible]、青年と宗教、同盟[illegible]丹羽清次郎氏也[illegible]明治學院[illegible]井深博士

●憲兵隊の勳績調査

憲兵隊本部にては駐韓憲兵隊の勳功を目下調査中なるが結了の上は軍司令部を經て明年二月頃陸軍大臣に提出すべしと云ふ

●憲兵大尉の赴任

憲兵隊本部副官たりし瀧大尉は弘前憲兵隊長心得を命ぜられ三日夜出發赴任せり

●木杯下賜

佐賀縣平民中島司馬之助、岡山縣高瀬經德、神奈川縣仁科正克、福島縣富永嘉與次、京城居留民團立第一第二尋常高等小學校備品費基本金へ寄附奇特に付木杯一組下賜せらる

●辭令(三日附)

任統監府屬五級俸下賜 入江海平
地方部勤務を命ず

公人私人

▲若松勉太郎(元山理事官) 五日歸任
▲吉永狂藏(步兵中佐) 二日仁川へ向け出發
[illegible]

●近事片々

▲內閣 更迭說は走馬燈の如く幾變遷せり頃者韓人間に傳說さるゝ處を試に揭げん乎
▲總理 は矢張金允植で度相兪吉濬法相趙義淵學相洪肯燮農相尹致昊內相宋秉畯等也
▲最も 奇なるは李容九の宮內府大臣たる說なり此等の說何れの邊より湧き來る者乎
▲假に 傳說の如しとすれば一進會より其人の大臣を出す勘定也先づ立ち消が當然也
▲併し 金允植は目下漢城政界の評者となる之れ抑も何が爲に然るか些と判斷し難し
▲金元 老か統監公に親善なりとの說より割出せしか將た全く國民の重望を負へる乎
▲尹致 昊に至りては完用君と同一模型一進會派とは全然合はず畢竟之れ噂に過ぎず
▲說 に依れば宋氏の位置頗る危く之が爲に統監公に哀請するてと頻なりとも云ふ
▲豪傑 を自ら氣取る野田君にして果して[illegible]此事あれば餘り意氣地なし野田君前途如何
▲統監 歸任以來既に旬日未だ何等の發動を見ず今や徐ろに腹案最中なるか楮待遠し
▲腹案 の發露する時は近日の中にあらんか倩如何なる者が現はるべき刮目すべし
▲乃公 の外乃公の胸中を知るものなしとは誰やらの口癖伊公の現在之に似たらん乎
▲曾禰 副統監には近々歸東との說もあるが之れ伊公と交代して暫らくの靜養なるや
▲仄に 聞く伊公も亦本月末に歸東すべしと然らは曾禰子の歸朝は唯噂だけの事にや
▲軍司 令部撤廢の東電は事實なるべき乎常識を以ては到底首肯し能はざるの報知也
▲是亦 斯る說あるに過ぎざるならん乎若し事實とすれば統韓政治に支障なからん乎
▲軍司 令部が第一協約及第二協約其他に於て多大の效ありしは今更に說く迄もなし
▲軍司 令部が嚴然として存する事が間接に於て尙は今後も多大の效要をなすや明也
▲帝國 の威嚴は軍司令部に依りて表せらるゝと云ふも決して過當の言に非ざるべし



●寒牡丹(七)

……有爲轉變は世ひの習……

不義の戀路に浮れ狂ひし男女は差し當り村山方に身を寄せしものゝ元々貯への金とてはなければ忽ちにして其の日〳〵の小遣錢にも窮し追々と村山方にも居たゝくになりたるより今は何とか身の振り方を付けずはならず知り邊を求めて奔走せる中或る人より朝鮮へ行けばボロイ儲け口ありとのことを耳にしたれば男女の兩人は俄かに其の話し[illegible]が安楽と抑ら相談が一決しては一日も氣が操き早速村山に嘆願して二人の旅費を調達しもらひ翌る年の一月浪華の浦を船出して釜山の港に着するや豫て村山より斯らいふ自分の知り邊のものが尋ね行くべければ何分厄介の程を賴むといふ一通の書面を賴りに同市大和町の安藤といふ家に暫時身を寄することゝはなりたり。

安藤夫婦のものは初めの中こそ友人村山の手前且つは珍らしさのあまり男女をば大切にもてなしたるもともと豐かならぬ生活向きのツヽ何時迄も客扱ひには出來ず二ツには男といふが大の怠けものにて更に身の振り方をつけやうとする模樣もなく毎日〳〵廣からぬ家の火鉢の前に坐り込んでは世間話や近所の噂さのみにて日を送り居る有樣にいつしか安藤夫婦のものも愛想を盡かし果ては出て行けがしにあしらうやうになりしを早くも見て取つたれタカは心も心ならず或る日男に向つて一日も早く何なりと仕事を見附け他に世帶を持ち安藤に疎まれんことをコン〳〵と説き勸めたりしに男も成程ソウと感付きてか早速諸所に手蔓を求め奔走せし結果草梁停車場の荷揚人夫となり村山方を立ち出で他に一家を持ちたりしがれタカは其の時は既に男を見限り折もあらば男をば振り捨てゝ何れへか高飛せんと考へ居りしなり(つゞく)

●電信清捕はる

……滿韓を荒らせし大賊……
……仁川署三刑事の手柄……
……民役所にて捕縛さる……

日本六十餘州はおろか滿洲より韓國を股に掛け强竊盜を幾十回となく働き而も巧みに其の筋の眼を晦まし容易に逮捕に困難なりし不敵の大賊通稱電信清といふは近頃滿洲より風を食つて韓國に逃げ來り京仁の間に潛伏し居るとの情報に接したる仁川署の刑事阪下、今井、石井の三名は愛で吾れ〳〵の手腕を揮ふべき秋ござんなれと苦心慘憺殆んど寢食を忘れ犯人の在り家を探ね居たる折柄去る一日はまだ宵の口仁川一山樓に一人の男登樓し藝者數名を揚げ飲めや唄への大散財に底拔け騒ぎを爲し居る樣子の何にも怪しきより三刑事は必定此の鼠ではなくヒョッとすると或は電信清にはあらざるかと共に袂を連ねて同樓内に押し上り内々樣子を探りたるところ果せる哉人相骨格等電信清と變りなきより三刑事は今は一時も猶豫する場合にあらずと直ちに其の部屋に踏み込み「曲者覺悟せい」と大喝せしに流石は電信清と綽名を取りたる曲者丈ありて其の機敏さは恰かも鼠の如く三刑事の姿を見るや否や曲者は忽ち身を躍らし階下に飛び降りて表へ逃げ出したれば三刑事は「逃がして溜るものか」と後追ひ掛けて一丁許りを行きしに曲者は所詮逃げれぬ[illegible]民團役所に逃げ込みたるより三刑事もつゞいて同役所に入り難なく捕縛し本署に引致し嚴重なる取り調べを爲したるが流石の曲者も終に包み切れず今迄の罪狀を逐一白狀したりといふ而して之が罪狀は昨今豫審中なるを以て追つて報道すべきが何れにしても三刑事の手柄は天晴といふべし

●梅子のドロン

……入院中男と逃げる……

一昨日午前八時頃新町遊廓の病院に入院中なる松榮樓の娼妓梅子の許に尋ね來りし男あり風體は一見商賈人らしく銘仙の着物に博多の帶といふ意氣な姿同院にては時間過ぎではあれど此れ迄も五六たびも來たことのある男故別段怪しとも思はず梅子の室に案内しけるに軈て夜も深更となりソロ〳〵小使連も寢床に這入らんとする時刻に至りしより小使は爲念梅子の室にいたり扉を開き見し所這は如何に件の男はおろか梅子の姿さへ見えざるより這は必定逐電を極めたに相違なしと思ひ其の趣早速松榮樓に通知したるに主人は大に打ち驚き直ちに警察署に訴へ出でたるが今に行衞不明なりといふ聞く所に依れば梅子は大阪のものにて豫て龍山の大村商店の番頭と馴染を重ね居りたるとかのことなれば當夜尋ね來りし男は或はその番頭なるべしといふ

●冬の衛生

……皆さん御注意あれ……

此頃寒氣次第に凛烈となり手指の凍ゆる頃となりたれば凍傷の豫防に注意せざる時は忽ち凍傷病に罹りて醫療を要することゝなるべければ此際凍傷の豫防は衛生上最も肝要なることにして殊に婦人等は皮膚が繊弱なる上に水を使ふこと多き故皸裂凍傷に罹ること多き故皸裂凍傷の妙藥としてベルツ氏液と稱する藥液を毎日二三回手指又は凍傷に罹り易き耳鼻尖運趾等に塗布するときは皸裂凍傷を豫防するの効あるのみならず已に皸裂凍傷に罹りたるときも此藥を塗布するときは容易に治癒平快する事必適なれば左に此藥の製法を掲げん實に簡單にして何れの藥舗にても調劑し[illegible]せらるべしベルツ氏液の製法は[illegible]グラム、グリスリン百グラム、酒精二百グラム、水百グラム等なり

●店員評判記

杉本呉服店員 小花堅氏

名からして正直さうである、道理で性來極めて規調面で、仕事をするにも四角四面で遣つて行く所から何をさせても滅多に間違ひがない商業の道は京都の本場で叩き上げた丈、却々熟練なものだ、殊に性格が温和で言葉遣ひが優しいと來て居るから呉服商人としては誂へ向きである招しの扱ひ工合も[illegible]して馴れたものだ、生れは京都、本年二十才の男盛りである

同店員 藤村富三郎氏

もし客に對して腰を低くするといふのが商人の本義であるならば氏の如きは之が典型といつても宜い、ソレかあらぬか「富さん」といへば同店の愛嬌男として一般の得意から可愛がられて居る、れ世辭が上手で氣前がよく、ソレに心から懇切である生れは滋賀縣野洲、生來孝悌の心に富み且つ涙脆い年二十六だとは苦勞性ねて見だと其の割には頭が禿げ上つて居る

同店員 桑原捨次郎氏

商賈人の外交といふは得意回りや注文取りに歩く役目をいふのである、氏が現今の分擔はツマリ此の外交である蓋し滔る〻許りの才と流る〻が如き辨舌とは確かに此の役目には適當して居る呱々の聲を擧げたのが明治十六年、琵琶湖の水で生湯を使つた兄さんである

同店主任 杉本鹿三郎氏

氏は創業の人に非ずして守成の人である、頭腦緻密にして計算の才に長じ思慮周匝にして整理の能に富んで居る故を以て表面に立つて活動するよりも内に在つて牙籌と親んで居る方が得意である原籍は近江商人として有名なる滋賀縣蒲生郡、幼にして杉本本店(京都)に奉公し早くも主人の信用を博し十八九歳の頃には既に一方の重鎭となつたのである性質は圓滿にして些の圭角なく溫和掬すべきものがある今年辰年といへば紛れもなく二十九努めて倦まずんば將來の成効期して俟つべきである

●金堤の火賊

去月二十七日午後十時忠淸南道金堤郡成德里に在る治道局出張所に火賊來襲するとの報達したれば同所に於ては防禦の手段を講じ待ち受けたるも來襲せずして終りたるが其の隣村イサクリには約八名の火賊來襲し東山農場米取立人方へ侵入したるも未だ宵のことなりしより附[illegible]騒が起るを幸ひ家族中一名裏側より逃れ急を隣家に傳へたる爲め賊も之れを感知し倉皇として大[illegible]村方面に向け逃走したりと

●花開洞の檢梅

仁川花開洞に於ける[illegible]の檢梅ありたるが二十一名中三名洗滌を要するものありたるのみ他の者は別條なかりし由

●嬰兒の死骸

一昨日午前十一時頃西部西廓都洞居住李聖寶(四〇)といふが所用ありて南大門外吉野一丁目を通行せしに折柄同町一丁目の釘本藤次郎氏所有の空地に何物か着物にて包みしが捨てあるより李は[illegible]如何に日本人の嬰兒の死骸なるにや[illegible]李は打驚きて其の旨早速西部警察署に届け出でたるに西部署よりは係官及び囑託醫出張し檢視を遂げしが棄兒は生後五六月を經過せしものゝ如く身には日本服を着し別に他殺の疑ひなしといふ死骸は洞長に引き渡せり

毎日種痘 南山町二丁目 植村病院 電話三三〇番

●韓人氣質

一昨日午後二時過ぎ南部草洞韓人某方の酒店に同草洞五統劉宮祐(三六)同竹洞八十二統崔永喜(三二)の二人來り世間話の酒の酌初めのほどは至つて仲睦まじく話し居りしがイザ勘定となつた時兩人顏見合はせ俺れは出さぬからお前が出せと互に口爭をなし果ては惡口雜言の火の手却々盛んとなり大立廻りを演せしが丁度其時銅峴分署の巡廻巡査通り掛り兩方を取りしづめたり

●仲居頭を割らる

一昨日午前四時頃本町六丁目有明樓仲居藤野スギ(三六)とかいふが南部署に出頭し只今料理人中野竹藏(四十)より此の通り頭を割られましたと血だらけの頭を突き出して訴へ出でたるより南部署にては直接右竹藏を招喚し取調に着手せり

●繪師の狂暴

日の出町百三十七番地繪師一本彌三郎(三六)は一昨日午前二時頃本町六丁目數ツベの軒下に醉ひ倒れ通行人の本谷宇一郎なるものに喧嘩をふきかけ引致されたり

●兵古帶を窃まる

仁川濱町二丁目川本治助と云ふは一昨日午後六時頃日本湯へ入浴の際價格十二圓の縮緬兵古帶を窃まる

●犬に噛まる

仁川宮町二丁目倉重具助方の飼犬は一昨日本町二丁目田中良助方康書房といふが自轉車にて同家の表を通行するを見るや突然飛びつき同人の左足に咬みつきたるより直ちに矢野獸醫をして診察せしめたる所狂犬にあらざるも危險なる徵候あるを以て同家に繋留することゝしたり

●立小便四人

南部銅峴居住朴在龍は昨朝自宅前にて次は抱川より馬を曳いて來た黃君三(四六)は同日午前十一時半小廣橋街路にて次は中茶洞李元景(三〇)は同日午後五時中部寺洞通り屠捨場の前にて次は北部北闕洞李應喜(四二)は同日午後九時半南部水票橋通りにて何れも放尿し居りたるを巡廻の巡査に認められ科料に處せられたり

●一昨夜の新町

一昨夜繰り込みたる數は百十二名消費高五百八十七圓七十二錢三厘なり

西風 晴

三日午前六時各地氣象概況 高氣壓は滿洲にありて一般に快晴なり

無煙煉炭 ……用途…… 適す
谷口無煙煉炭工場
京城特約店 巴商會
韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

●炭鑛商に多年經驗ある者の雇はれたし 年十九 氏名在社（一〇五）

●官衙の給仕に雇はれたし年十八 氏名在社（一〇六）

●砲兵隊 海軍一等機關兵年廿六韓國鐵道の運轉取扱へ雇はれたし普通學有韓語に通す給料多きを不望 氏名在社（一〇七）

●鹿兒島縣人有馬氏の住所を問ふ 同縣人（一〇八）

店員入用 炭商に經驗ある者數名雇入れたし 壽町三丁目今西商店（一一一）

●雇はれたし 年三十九中學教育有身體健全會社の受附又は商店の帳場役を望む 氏名在社（一一二）

●雇はれたし 年廿六身體頑健職業を擇はす相當の家に雇はれたし 氏名在社（一一三）

●若き婦人入用 …… 明治町一丁目松岡醫院（一一八）

●女子見習生募集 委細面談 本町六丁目中村齒科醫院

●韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所

崎村君より御親切なる御言葉厚く御禮申上候 石村生（一一五）

下女入用 望の者は本人來談あれ 氏名在社（一一六）

女中入用 裁縫の心得ある人を求む 旭町一丁目勸賣所（一二〇）

●英韓語無料教授自午後六時至九時水樂町三丁目二十一番戸ノ四 上田生（一二三）

●二十歲迄の店員五名身元保證人ある者雇入たし 姓名在社（一二三）

●雇はれたし 年廿六西洋料理に熟練旅館料理店又は賓人家にてもよし給料不望確實の保證人あり 氏名在社（一二四）

物件部

賣地 本町八丁目通り地所四十坪溫突十間建家の價格安にて至急賣却 姓名在社（九九）

賣地 京仁線富平停車場近所在上水田四石落安價にて賣却す希望者は至急申込あれ 旭町二丁目京城興信所（一〇二）

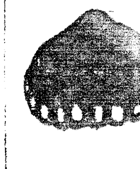
便利の場所にして電話の備もあり官吏向き八疊四疊五つ間二階貸間あり電話六五九番に御照會あれ（一一〇）

貸間 あり 氏名在社（一一七）

古着付買 其他御不用品買受けたし 旭町一丁目勸賣所（一一九）

貸間 旭町二丁目便利の場所にて六疊二間二階貸しいたし望の方は御來談被下度候 旭町一の六十京仁商會（一二二）

廣告



齒科開業御披露

齒科時間朝八時より夜十時迄技術は最も嚀叮親切を旨とす

京城旭町一丁目五十四番戸
齊藤齒科專門

開店御披露

拜啓時下寒冷之砌各位樣益々御盛榮之段大慶至極に奉存候随而弊店儀今般仁川新町にて御愛顧を蒙り居候處今般業務擴張の爲め龍山元町三丁目本願寺下に移轉仕在來之通り時計及附屬品貴金屬製品一式卸小賣併に時計修繕共一層大勉強にて懇切を旨とし各位の御滿足を相計り又精々廉價にて御需めに從ひ可申候扨而今般開店御披露として十一月廿八日より十二月五日まで向八日間正札より**一割引**にて御求めに應ず……

ニツケル片側懷中時計アンクル龍頭卷實用向堅固なる品多數入荷仕候間開店披露の爲め貳圓五十錢の處**貳圓**にて貳百個限り御求めに應ず可く候

各種時計
附屬品並に
貴金屬
卸小賣店

龍山元町三丁目本願寺下
蒲原時計店

石炭 直輸商
京城旭町二丁目
島與商會出張所
（ストーブ用は一俵以上配達可仕候）

▲**轉宅荷物運搬** 京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任**じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

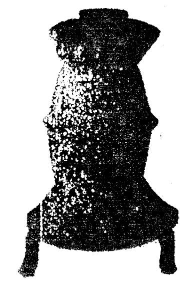
京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側
有田運送店
店主 有田豐太郎

純良無臭精酒アルコール
直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

西洋家具製造及建築家屋繕

小生儀從來太平町に於て前記の業務在罷候處幸ひ江湖諸彥の御引立に預り日增しに隆盛に赴き候に付今回業務擴張の爲め左記へ移轉し熱心迅速を主とし一層勉強可致候間倍舊御引立に預り度此段御勉露申上候也

京城南大門外御成町
大原松次郎
電話二四七番



舶來日本品直輸入大販賣
京城支那領事館通
清韓洋行
電話四九四番

解雇廣告
店員 **菊樂眞次郞**

右の者從來自分店員として使用中の處都合に依り本日限り解雇致候に就ては自今弊店と一切關係無之候間此段爲念廣告候也

四十一年十二月一日
京城大和町一丁目九番戸
雇主 **菊樂定太郞**

土地家屋 金錢貸借 人事物件
雇人口入業
南大門通二丁目十三番戸
東屋

銘茶 ……
京城本町……丁目

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店（電話四二〇）

本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

易斷觀相及教授
新編 黃文館
三一館
近は來館遠は郵便にて

青々園

茶ハ宇治ノ純ナルヲ選ミ茶器ハ清水ノ粹ヲ拔ク

京城本町四丁目
青々園茶舖

和洋**暖爐販賣**
並に附屬品一式煙突取付請負
京城本町五丁目一番戶
馬木勇吉
電話四七一番

告在韓清國人

第四十二次一萬圓大連彩票 西曆十二月十三日 中曆十一月二十日
第二十五次一萬圓安徽彩票 西曆十二月九日 中曆十一月十六日
第八十三次五萬圓湖北彩票 西曆十二月九日 中曆十一月十六日

發賣金
大連全紙金壹圓參拾錢
安徽全紙金壹圓貳拾錢
湖北全紙金七圓五十錢（半紙金六十五錢 小切八十錢即十分ノ一）

第四十一次大連彩票由弊店發出 右五一二五〇 彩金壹萬圓 等得

確實發賣如遠隔地方御購求希望者御附金並御留信料添附急速御用命通可贈付不誤主顧

京城南大門通小廣橋角
清商 **德興號**

本店仁川支那町 德興號

西洋雜貨、洋酒、食料品、各國煙草、洋菓子、化粧品、新式椅子、毛地氈、油地氈、足頭各種、更紗卸小賣商

神……（……）並……販賣

雜誌 大阪佛教取次所

貧困者は特志取扱申候

京城南山町四丁目（花月向）
左文字屋
取次電話八四九番

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）

和洋酒、㊂精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

高等御下宿開業御披露
京城大和町一丁目（日の出橋東詰）
大和館

御進物用 聯合景品附大賣出し
金口莨 上等葉卷莨 其他附屬品一切

十二月一日より末日迄歲末大賣出しとして大々的勉強可仕候間御引立の程伏て奉懇願候以上

京城本町壹丁目
トルコ煙草日希商會

石炭各種 無煙煉炭
南大門通り
巴商會
電話三〇六番

内外科 小兒科 花柳病
京城旭町二丁目
富久尾病院

紅茶 コーヒー ……
京城旭町二丁目
開春園

登記漢城府手續、京城本町二丁目諸願屆代書 民役所前
……測量……事務所

土地家屋賣買其他金錢貸借諸般ノ仲介 取次電話六二四

●寒氣と牛乳 ●牛乳と消毒
南大門外（電話八八番）
韓國畜產株式會社

入院隨意
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治
京城壽町三丁目（元阪井病院跡）（電話二一六番）
高井醫院

洋種 純良 ……取次 ……牧場

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
仁川海岸通 貨物及船客取扱店
郡司回漕會
電話十番

城南大門通 **巴商店** 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 十二月二十日後三時出
●大連行 高砂丸 十二月八日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月八日前五時出
●大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時出
●釜山出帆、浦鹽行 立神丸 十二月二日

御注意 御乘船ノ際ハ税關渡止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月前金……
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郞
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六三番